

# 新型コロナワクチン Q&A

## 1. ワクチンについて

Q1. 今回の新型コロナワクチン（モデルナ社製）とは、どのようなものでしょうか

A. 下記を参照してください。

武田／モデルナ社の新型コロナワクチンについて

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_moderna.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html)

新型コロナワクチン予防接種についての説明書（武田／モデルナ社）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000782621.pdf>

Q2. ファイザー社製のワクチンを接種したいが選べないのでしょうか

A. 選べません。今回の帯広畜産大学におけるワクチン接種は、すべてモデルナ社製のワクチンとなります。モデルナ社製で1回目を接種した場合、2回目も同じワクチンを接種する必要があります。

Q3. ワクチンを接種すれば、もう新型コロナウイルス感染症にはかからないのですか

A. 本ワクチンは新型コロナウイルスへの感染を完全に防ぐものではありません。しかし、感染した後の種々の症状の出現（新型コロナウイルス感染症の発症）の抑制効果は約94%と報告されています。本ワクチンの接種で十分な免疫が発揮されるのは、2回目の接種から14日以降です。ワクチンを接種してもコロナウイルスに感染し（症状は無くとも）、他の人に感染させる可能性もあるので、ワクチン接種後も適切な感染防止策（マスク着用、手指衛生の徹底、生活の自粛、密集形成を避ける等）の継続をお願いします。

Q4. 新型コロナワクチンの効果はいつまで続きますか

A. 新型コロナワクチンの治験は2020年の夏以降に実施されたため、現在のところどれくらい効果が持続するのかについての情報はありません。モデルナ社のワクチンの第3相試験のデータでは、ワクチン接種後、血液中の中和抗体の存続は平均6ヶ月

月程度とされていますが、実際の予防効果の持続については不明です。今後、追加接種が必要なのか、必要ならいつ接種するべきか、についてはまだ統一見解がありません。新しい情報は、厚生労働省ウェブサイト等を参照してください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_yuukousei\\_anzensei.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yuukousei_anzensei.html)

新型コロナワクチンについて

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_00184.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html)

Q5.自治体等が行っている接種と、大学での職域接種を組み合わせることはできますか

A. 今回の帯広畜産大学での職域接種はモデルナ社製のワクチンを使用します。2回の接種は同じワクチンである必要がありますので、自治体等が行っている接種（ファイザー社製）と組み合わせることはできません。

同一の接種会場で2回の接種を行うようにしてください。また、すでに自治体等が行う接種で1回目の接種を受けている場合は、帯広畜産大学の職域接種に申し込むことはできません。すでに自治体や国で行っている接種の予約を行っている方で、帯広畜産大学の職域接種に申し込んで予約がとれた場合には、どちらかのキャンセルを必ず行ってください。

## 2.副反応について

Q1.今回の新型コロナワクチンの副反応とはどのようなものでしょうか

A. 主な副反応は、注射した部分の痛み（※）、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。

（※）接種直後よりも接種翌日に痛みを感じる方が多いです。接種後1週間程度経ってから、痛みや腫れなどが起きることもあります。

また、まれに起こる重大な副反応として、接種直後のショックやアナフィラキシーがあります。そのため、

○接種後15分までは必ず接種会場で座って様子を見てください。

○接種後30分まではキャンパス内の周りに人がいる場所で様子を見てください。

○過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状をおこしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、接種後30分まで接種会場で座って様子を見てください。

Q2.副反応は、出るかわからないとのことだったと思うのですが、接種後何日くらい様子を見たら良いでしょうか

A.副反応に関しては個々により異なりますが、モデルナワクチンの副反応に関する一般的な情報は以下の通りです。参考にしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000805693.pdf>

### 3.接種対象者について

Q1.最近、他のワクチンを接種しました。すぐ新型コロナワクチンを接種しても大丈夫でしょうか

A.原則として、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種できません。新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種するよう推奨しています。

(例) 4月1日に新型コロナワクチンを接種した場合、他のワクチンを接種できるのは、4月15日(2週間後の同じ曜日の日)以降になります。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0037.html>

Q2.妊娠中、または授乳中です。新型コロナワクチンを接種しても大丈夫でしょうか

A.すでに多くの接種経験のある海外の妊婦に対するワクチン接種に関する情報では、妊娠初期を含め妊婦さんとおなかの赤ちゃん双方を守るとされています。また、お母さんや赤ちゃんに何らかの重篤な合併症が発生したとする報告もありません。したがって日本においても、希望する妊婦さんはワクチンを接種することができます。

あらかじめ健診先の医師に接種の相談をし、接種してよいと言われていれば、その旨を接種会場の問診医に伝えて、接種を受けてください。

詳細は、日本産婦人科感染症学会および日本産科婦人科学会の見解をご参照ください。

[http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210617\\_COVID19.pdf](http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210617_COVID19.pdf)

Q3.基礎疾患/持病/アレルギーがあります。新型コロナワクチンを接種することができますか

ますか？その他接種にあたっての健康上の不安がある場合は、相談はどこにすればいいですか

A. 下記を参照していただき、「受けることが出来ない人」、「注意が必要な人」に当てはまるかご確認ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_moderna.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html)

基礎疾患によっては、新型コロナウイルス感染症重症化のリスクになります。そのため、過去にワクチンへのアレルギーの既往がなければ、基礎疾患がある場合にはむしろ積極的に接種していただくのが望ましいとされています。現時点で、ワクチン接種時に服用していて問題となる治療薬はありませんが、基礎疾患/持病があり心配な場合は主治医にご相談ください。

#### 4. 接種方法・予約方法について

Q1. 自治体からの接種券がなくても接種できますか

A. 1回目、2回目とも、自治体から接種券が届いている場合は持参が必要となります。接種日までに届いていない場合も接種は可能ですが、届き次第（後日）、帯広畜産大学に提出していただきます。

Q1. 接種間隔はどうしたらよいですか

A. 武田／モデルナ社のワクチンは、標準として、1回目から4週間後（4週間後の同じ曜日）に2回目を接種することになっています。8月28日（土）～9月1日（水）の間に1回目を接種し、その後4週間後の9月25日（土）～9月29日（水）の間に2回目を接種してください。

1回目の接種から4週間を超えた場合、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。なお、4週間を超えても、接種を1回目からやり直す必要はありません。

参考)

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0072.html>

参考)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_moderna.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html)

#### 5. 接種後の体調や健康面について

Q1. 接種後に、急性アレルギー反応（アナフィラキシー症状；じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状、血圧低下、脱力など）があった場合は、どうしたらいいですか

A.接種後少なくとも 15 分間は経過観察のため観察場所に留まって様子を見ていただきます。副反応に対応する医師が待機しております。待機中、アレルギー反応と思われる症状があった場合は、至急、近くにいる関係者に声をかけてください。もし、キャンパス外や帰宅後に症状が出現した場合は、救急車を呼んでください。

Q2. 過去にアナフィラキシーを起こしたことがあり副反応が心配です。希望すれば 15 分より長く経過観察をしていただくことは可能ですか

A.ご心配な場合は、観察時間の延長も可能です。万が一、会場を出たあとでも、キャンパス敷地内で体調不良となった場合は、保健管理センターが対応します。

Q3. 接種後の副反応（痛みや発熱）に対して、市販の解熱鎮痛薬を飲んでもよいですか

A.市販のアセトアミノフェン（解熱鎮痛薬；カロナール、タイレノールなど）を使用してもかまいません。皮膚のかゆみは、患部の冷却や抗ヒスタミン剤で対応してください。症状が重い場合や数日経過をみてもよくなる場合には、医療機関にご相談ください。

Q4. 副反応の発熱対応用のアセトアミノフェン製剤の配布はありますか

A.カロナールを配付予定です。

Q5.新型コロナワクチンの接種部位に、腫脹、痛み、かゆみがある場合はどうしたらいいですか？

A.米国疾病対策予防センター（CDC）の調査によりますと、副反応として、1 回目の接種部位の痛みはモデルナ社製で 71%と高頻度で見られます。接種部位に腫脹、痛みがある場合には、患部の冷却をしてください。痛みが強い場合

には、鎮痛薬（カロナール、タイレノールなどアセトアミノフェン）の服用などで対応してください。皮膚のかゆみは、患部の冷却や抗ヒスタミン剤で対応してください。

症状が強い場合や数日経過をみてもよくなる場合には、医療機関にご相談ください。

Q6.ワクチン接種後に運動をしてもいいですか

A.接種当日の激しい運動は避けてください。

参考) <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0043.html>

Q7.ワクチン接種当日の入浴は可能ですか

A.入浴は差し支えありません

参考) <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0041.html>

Q8.新型コロナワクチン接種後 48 時間以内ですが、発熱や疼痛、頭痛、倦怠感、筋肉痛があります。どうしたらいいですか

A.ワクチン接種による副反応の可能性が高いので、患部の冷却や鎮痛薬（カロナール、タイレノールなどアセトアミノフェン）の服用などで対応してください。また、北海道及び帯広市では、副反応等に関する相談を含む新型コロナワクチン相談ダイヤル等を開設しています。

◆北海道 新型コロナウィルスワクチン接種相談センター 0120（306）154

◆帯広市 新型コロナワクチン接種推進室 0155（25）9721

なお、症状が重い場合は最寄りの医療機関を受診してください。

Q9.新型コロナワクチン接種後 48 時間を過ぎても、発熱を伴う疼痛、頭痛、倦怠感、筋肉痛等の症状がある場合はどうしたらいいですか

A.潜伏期間にワクチン接種をしてその後、新型コロナウィルス感染症を発症した可能性もあります。最寄りの相談窓口（帯広市 新型コロナワクチン接種推進室）に相談し

てください。保健管理センターへの報告も行ってください。

Q10.新型コロナワクチン接種後 48 時間を過ぎても、原因不明の体調不良(発熱なしだが、倦怠感が続く等々)がある場合はどうしたらいいですか

A.接種後の原因不明の体調不良は、ワクチンの副反応の可能性もあります。

帯広市保健福祉センター（0155-25-9721）または本学の保健管理センター（0155-49-5793）に相談していただくか、日常生活に支障を来す状況であれば、最寄りの医療機関を受診してください。